

# 豊田景気実感調査



Viewing over Our Toyota's Economic Condition

第28号

発行日 2025.6.17

## 2025年5月調査結果

## “豊田の景況感、全国比で弱く足踏み状態が継続中”

	現状判断 D I				先行き判断 D I				水準判断 D I			
	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合
豊田	44.5	40.8	53.1	43.8	42.3	41.2	53.1	42.8	40.1	42.6	53.1	42.1
全国	44.8	44.4	46.3	44.8	46.0	45.9	46.9	46.1	43.4	44.7	48.3	44.2
東海	43.7	—	—	44.3	45.2	—	—	44.1	43.7	—	—	44.3

※全国、東海は内閣府5月調査 【天気図の見方】 D I 値 大きな晴れ：60点以上 / 晴れ：50～60点未満 / 曇：40～50点未満 / 雨：40点未満

### 2025年5月調査結果総括

現状の豊田における景況感は、前回の2024年11月調査から曇り模様での「横這い」状況となりました。要因としては景気モニターの声で多く挙げられている「物価高の影響」であることが引き続き色濃く確認されています。所得は一部で改善の兆しが見られるものの、物価高の勢いがこれを上回り、景況感を大きく押し下げている様子がうかがえます。特に建築費高騰や消費抑制の影響を受けている「住宅」と「飲食」に大きなマイナスが確認され、自動車産業に影響を与えることが危惧されているトランプ関税や世界情勢の不透明感の高まりも相まって、全国に比べ、景況感を慎重に見る傾向のある豊田では、現状判断DIが全国比劣位の状況となっています。

先行き見通しについても、止まらない物価高や慢性的な人手不足、価格転嫁の難しさ、不安定な受注見直しなどを要因として、引き続き、厳しい見方をしておられる様子が確認できました。特にトランプ関税の動向を懸念する形で、豊田の経済に影響の大きい「製造」と「非製造」の先行き見通しに弱さが見られ、総じて景況感の先行き見通しは、全国比でも慎重な結果となっています。

足元の景況感を示す水準判断では、「雇用」のみ全国比で優位となり、「飲食」と「住宅」では大幅な景況感の悪化が確認できています。

今回の調査結果では全国比「劣位」の景況感にある業種が大半となり、景況感を慎重に見る傾向の強い豊田が如実に表れる結果となりました。

### 2025年5月特別調査結果

【所得見直し】 所得が増えていくことへの期待感の回答割合は、2019年5月コロナ禍前の水準26.6%を超える29.3%まで徐々に高まっています。

【お小遣い調査】 増えているとの回答が微増する一方で、減っているとの回答が前回調査比6.6%の大幅増となり、消費活動の停滞が見てとれます。

【米国の関税政策に伴う豊田市への影響調査】 大小問わず影響ありとの回答が78.5%を占め、自動車の輸出→関税分の販売価格への上乗せ→米国での販売不振→輸出企業の売り上げ低迷→自動車関連企業の業績悪化→豊田市の税収減というマイナスの流れが考えられるとの意見が寄せられています。結果的に個人消費マインドを冷やす可能性も指摘されており、引き続き米国の関税政策には注視が必要です。

【米国車が売れない理由調査】 日本車の地理的要因も踏まえた全体的な優秀さ、米国車の宣伝不足等が売れない理由とした調査結果となりました。

【豊田市の観光スポット調査】 豊田市美術館や博物館、豊田スタジアムの他、トヨタ自動車関連の施設、小原の四季桜公園といった観光スポットがお薦めとして寄せられました。一方で「特に無い」との回答も30%近くの方から寄せられており、国内外の観光客を呼び込むためには、都市部と山間部の両方を備え、世界有数の企業や特徴的な外観のスタジアムなどをうまく活かした豊田市ならではの観光コースを設定する等の施策が必要なが確認されました。

【豊田市における副業状況調査】 副業をしていないとの回答が64.9%となり、豊田市において副業はまだ一般的でない様子が確認されました。

1. 調査期間：2025年5月7日～30日

2. 調査客体：285名（家計/企業/雇用等） うち有効回答：195名 / 有効回答率：68.4%

3. 調査項目：  
 ・ 2～3ヶ月前に比べ現在の景気はどう変化したと感じますか？ ⇒ 現状判断DI  
 ・ 2～3ヶ月前先の景気は現状に比べどう変化すると予想しますか？ ⇒ 先行き判断DI  
 ・ 現在の景気的水準をどう判断されますか？ ⇒ 水準判断DI

<問い合わせ先>  
 豊田商工会議所：櫻井・吉迫  
 0565-32-4594  
 豊田信用金庫：高橋  
 0565-36-1384

4. DI算出方法：

評価段階	5	4	3	2	1
現状判断	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
先行き判断	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
水準判断	良い	やや良い	どちらでも	やや悪い	悪い
付与点数	1	0.75	0.5	0.25	0

各判断項目毎に、評価段階別の回答者数構成比（100%比）を出し、その構成比に上記の付与点数を掛け、合計します。それがDI値です。

本調査は、豊田市に居住または勤務されている個人の方で、家計、企業、雇用の動向を敏感にキャッチ出来る方を対象に、身の周りの景気の実感を聞く調査です。内閣府の「景気ウォッチャー調査」（こちらは毎月実施）に準じて、豊田商工会議所と豊田信用金庫とが協働し半年に1回（5月/11月）実施しています。また、家計は小売、飲食、サービス、住宅、企業は製造、非製造業から構成しています。なお、本調査では別に「特別調査」を実施しています。

<調査にご協力頂いた皆さまに心よりお礼申し上げます。>

# 総括

総合DI (豊田) 横這い



## ●前回は

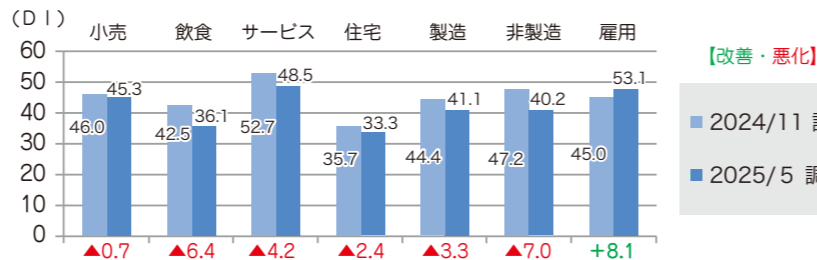
- ・総合：不変 (曇→曇)
- ・家計：不変 (曇→曇)
- ・企業：不変 (曇→曇)
- ・雇用：良化 (曇→晴)

## ●全国比

- ・総合：不変 (劣位→劣位)
- ・家計：不変 (劣位→劣位)
- ・企業：不変 (劣位→劣位)
- ・雇用：良化 (劣位→優位)

# 業種別内訳

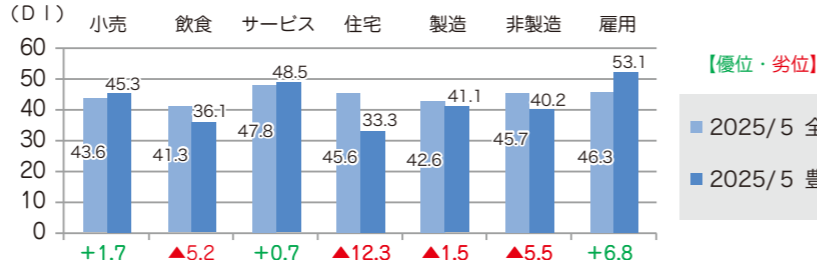
「飲食」は来店客数の伸び悩み、「住宅」は建築費高騰を要因として景況感が悪化



前回は

全国比

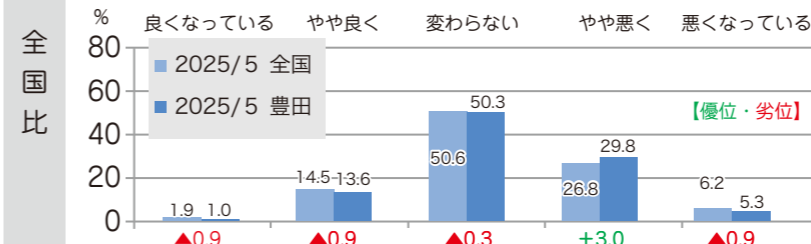
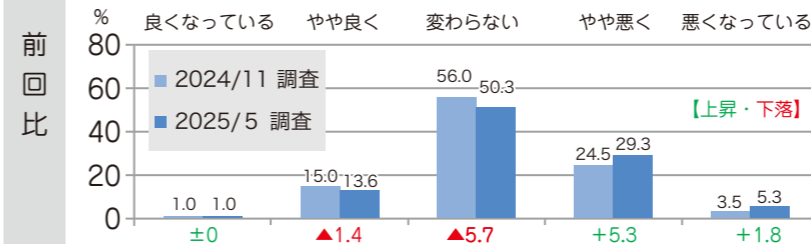
全国比、「住宅」が非常に弱く、飲食も DI40 を下回り、豊田の景況感は弱い



# 評価段階別内訳

# 景気モニター生の声

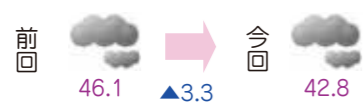
< + : 回復感あり - : 回復感なし >



- +: 来客数は堅調に増えてきており、リードタイムも長期化していることから、引き続き来客数に関しては堅調に増え続けていこうと思います。(都市型ホテル経営者)
- +: レジャー等、本事業で関係ない部分で予算化する企業が増加し休暇にお金を使うお客様も増えた。(旅行代理店従業員)
- +: 短納期依頼での受注や通常での受注依頼増の為。(輸送用機械器具従業員)
- +: 生産設備の稼働率が高く、売上げ額も高水準である。(輸送用機械器具従業員)
- : 全てにおいて物価高で、お客様の買い控え意識が強いように思います。(商店街代表者)
- : 商品仕入れ単価の上昇により、販売価格高騰で消費者の買い控えや、安売り店への流出が見受けられる。取引先の顧客の仕事量も減少して、売り上げは右肩下がり。(一般小売経営者)
- : 建築費の高騰で高い土地の購入意欲が減っている。(住宅関連経営者)
- : 設備の改善・新規設備等の話がほとんど聞かなくなっている。トヨタ系列・ホンダ系列・日産系列ともに提案は出て来るが具体的ににならない。(電気機械器具経営者)
- : トランプ関税の影響により業界全体が混乱している。(輸送用機械器具従業員)

# 現状判断

総合DI (豊田) 横這い



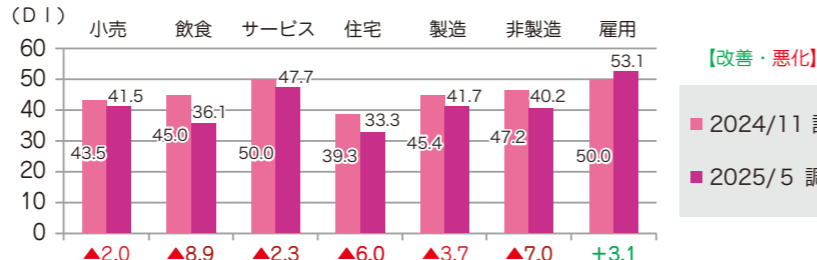
## ●前回は

- ・総合：不変 (曇→曇)
- ・家計：不変 (曇→曇)
- ・企業：不変 (曇→曇)
- ・雇用：不変 (晴→晴)

## ●全国比

- ・総合：不変 (劣位→劣位)
- ・家計：不変 (劣位→劣位)
- ・企業：不変 (劣位→劣位)
- ・雇用：良化 (劣位→優位)

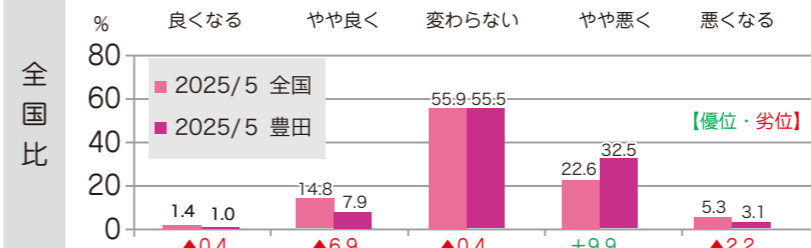
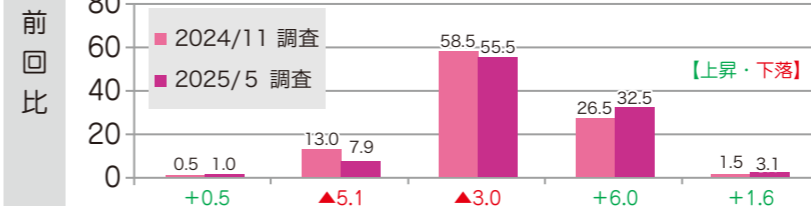
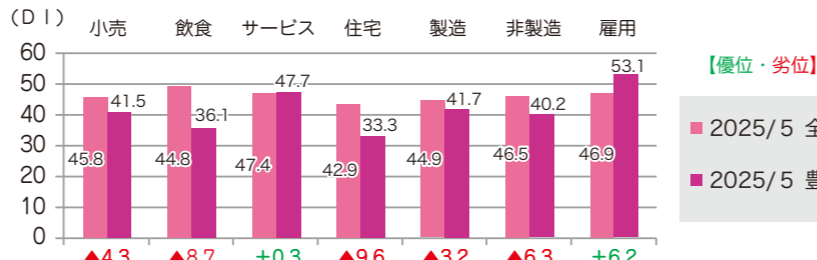
物価高騰を要因として、「雇用」を除く全ての業種で先行き見通しは悲観的な様子



前回は

全国比

「製造」「非製造」の弱さは、今後の「トランプ関税の影響」を懸念していることが要因



- +: 良くなっていくと思うが、2~3か月後の季節を考えると猛暑、TVでの「不要不急の外出控え」報道により、歩いている人がいなくなり客足が鈍るのでそこを考えると厳しい時期に突入する。(商店街代表者)
- +: 2024年の家電小売市場は減少であったが、AV家電は微増であった。特にテレビに関しては大型サイズの需要が増えており、高価格帯の売上も上がってきているため、消費が伸びる6月に向けては景気が良くなっていると考えている。(家電量販店経営者)
- : 仕入れ高騰、販売価格の上昇は収まらないし、一度逃げたお客様は、戻らないと推測する。(一般小売経営者)
- : 米をはじめ物価上昇の折、生活内容が厳しくなっている。特に派遣社員、また外国人労働者の財布が厳しくなっているのではないだろうか。(百貨店売場主任)
- : 材料費、輸送費、人件費、光熱費全てに敏感になっている。(一般レストラン経営者)
- : トランプ関税等による物価高や景気悪化を懸念している。(観光名所従業員)
- : 自動車を巡るアメリカの関税および他国の対応が不透明であり、楽観できない。(金属製品経営者)
- : 人手不足で受注量が増やせない。(建設業経営者)
- : 物価の上昇速度に賃金が追いつかない。価格交渉も後手に回っている。(化学工業経営者)

# 先行き判断

総合DI (豊田) 横這い



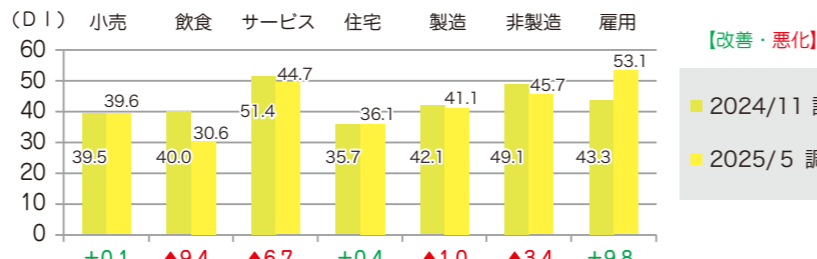
## ●前回は

- ・総合：不変 (曇→曇)
- ・家計：不変 (曇→曇)
- ・企業：不変 (曇→曇)
- ・雇用：良化 (曇→晴)

## ●全国比

- ・総合：不変 (劣位→劣位)
- ・家計：不変 (劣位→劣位)
- ・企業：不変 (劣位→劣位)
- ・雇用：良化 (劣位→優位)

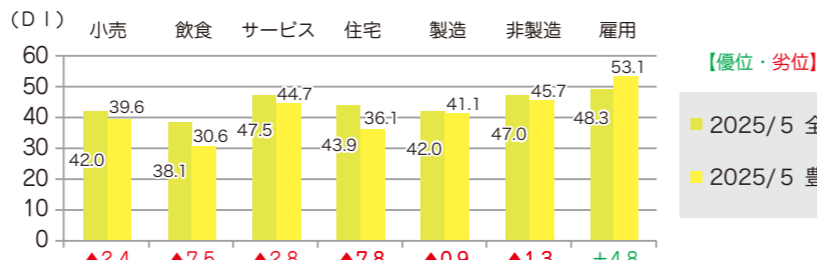
足元の景況感は「飲食」「サービス」に大きな下落が見られ、消費行動停滞が見て取れる



前回は

全国比

全国比、「雇用」を除き、豊田における足元の景況感は相当に弱い様相



# 自由回答：景気モニターからの貴重な声

- 今年もとよた宿割を実施していただければ、山間地域での消費喚起につながると思います。
- 街中の商店にロピアができて影響があったか聞いたところそんなに変化はないとのこと。それよりも物価高の影響が大きく値上げをせざるを得ないことが心苦しいとのこと。
- ペDESTリアンデッキの工事で客の足が遠のいた。早く工事が終わらないかと愚痴っていた。
- ロピア人気はしばらく続きそう。土日は駐車場が苦勞(グランパスも)。豊田市にモール・アウトレットがないことが残念(永遠に言われる)。瑞穂グランドが完成したらグランパスの試合減。豊田市駅からスタジアムまでの信号交差点は全て歩行者分離にしましょう(248・大橋西)。
- インバウンド、国内問わず旅行者を迎えるのにあまりに豊田市駅前が貧弱である。また、交通網も急行がない鉄道しかない点、車の町であるが故の公共交通の弱さも気になります。
- 流行りのインバウンドなどは手を出さず、地道にトヨタと連携して街づくりをしていけば良いと思う。
- 世界のトヨタがあるのに、もっと観光に力を入れて魅力ある街、自慢できる街づくりを希望します。
- トランプショックで、豊田市にまた不景気が来ないか心配しています。会議所、信金さんのご尽力に期待しております。
- 皆さんが感じている通り、値上げラッシュで実質的な収入は上がらず、生活に関して良い将来への材料がないと思います。
- 正社員以外の働き手が4割である事を踏まえると、企業の技術承継は難しくなりやがて衰える。技術は営業術、技能術など多岐にわたる。賃金と技能が融合する新しい体系を見つけ出さなければならない。
- 豊田市の第9次計画で調整区域での宅地供給が増えると、土地の値段がどのくらい下がるか気になります。
- 市内の歩道橋のベンキが剥がれている。道路にごみが多い。街路樹の老朽化対策で街に均一性がなく美しさが無い。歩道にごみ箱の設置をしてほしい。誰もが進んで入れられる気持ちにさせる、危険の伴わないゴミ箱のアイデアを募集してください。
- 豊田市住民のメリット(地域差)がもっと欲しい。自家用車での移動がメインの世帯が多いため、ガソリン代補助、市民税減。それができないなら物資補助(米支給)など、行政で出来る事を市民へ還元してほしい。
- どの企業も人材確保のため、新入社員の基本給を大幅に上げている気がします。中小企業はその賃上げにどうしてもついていけない気がします。その為、中小企業は人材確保が厳しい状況にきていると思う。
- 少子化解消を皆で真剣に考えるべき。女性が住みやすい、暮らしやすい、また働き甲斐や生きがいを感じるような環境づくりをやるべきであると思います。

～ 貴重なご意見、ありがとうございました。～

# 水準判断

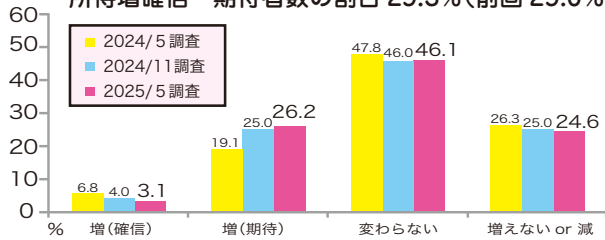
# 【特別調査】

## 所得見通し※ 消費意欲の調査

※2012年から調査を継続しています。

今後、所得は増えていくと思いますか？

所得増確信・期待者数の割合 29.3%(前回 29.0%)

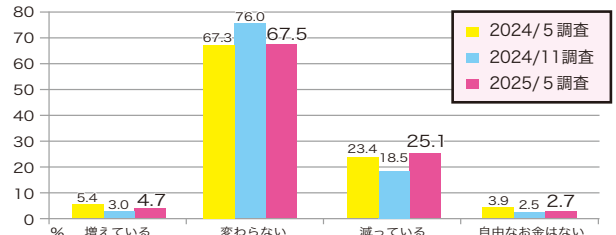


所得増への期待感は引き続き改善傾向

「コロナ禍」により10%台の水準に低位推移していた所得増への期待感が、前回29%を超え、今回調査も引き続き上昇しています。人手不足解消のための賃上げが行われているものと推察されますが、景況感の改善には結びついていません。

自由に使えるお金【小遣い等】は増えましたか？

“増えている”割合 4.7%(前回 3.0%)



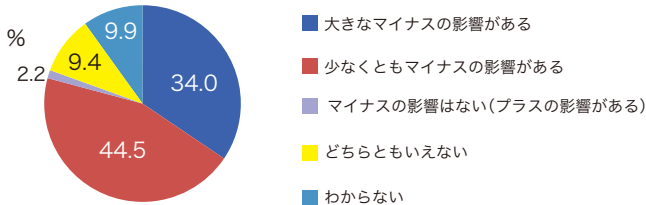
「お小遣い」が増えている方が微増する一方で、減っている方が大幅増加

消費活動に直結する「お小遣い」については、増えているとの回答が微増(前回+1.7p)し、減っているが大幅に増加(同6.6p)しており、2極化が進んでいます。消費活動の活性化に大きな期待はもてない状況にあります。

## 米国の関税政策に伴う豊田市への影響調査

自動車の街、豊田市において、米国による自動車への25%の追加関税は影響があると思いますか？

豊田市へ「大小問わず影響あり」が 78.5%



【大きなマイナスの影響があると回答 34.0%】

- ・自動車の輸出に関して、関税分の販売価格への上乗せ、米国での販売不振、輸出企業の売り上げ低迷、自動車関連企業の業績悪化、豊田市の税収減というマイナスの流れが考えられるため。
- ・豊田市の税収が減少することにより、市発注の事業、工事、イベント等の縮小は避けられないと思う。その影響で、すべての企業、商店、サービス業の業績悪化は避けられないでしょう。

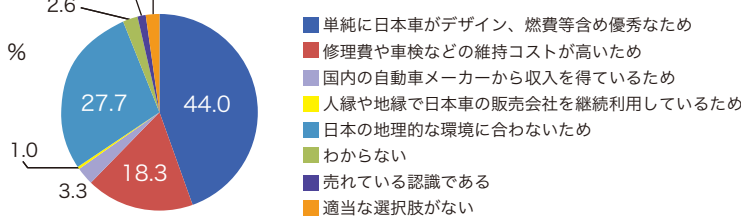
【少なくともマイナス影響があると回答 44.5%】

- ・自動車関連企業の業績悪化リスクを踏まえ、個人消費マインドの冷え込みが増すと考えられるため。

## 日本で米国の自動車が売れないと言われる理由を調査

日本は米国の自動車をもっと買うべきだとトランプ大統領が発言しています。なぜ売れないと思いますか？

日本車の優秀さを多くの方が指摘されています



【適当な選択肢がないと回答された方から寄せられたコメント】

- ・米車メーカー・ディーラーは日本において販売努力が全く足りない。日本車の優れているところをもっと認めて米車も努力すべきだ。
- ・消費地のニーズに合わせた商品(サービス)が提供されていないように感じる。
- ・販売店がどこにあるかわからない。あまり宣伝もしていないと思われ、そもそも日本で売る気がないのではと思われる。
- (その他) 現在テスラを所有しているが、豊田市の補助金から何故テスラだけが除外されているのか納得がいけない。とのコメントもありました。

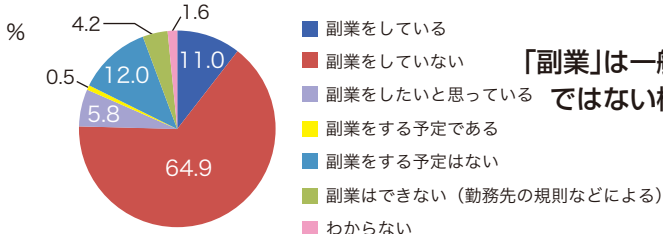
## 国内外から観光客を呼び込める豊田市の観光スポット調査

豊田市と関係の深い景気モニターが選ぶ、豊田市の観光スポットとそのお薦め理由は何ですか？

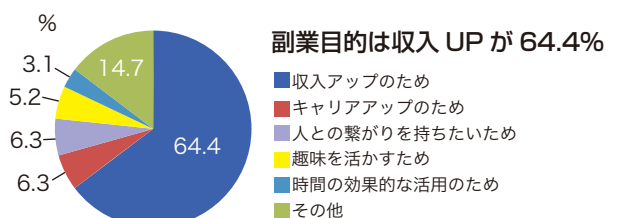
- 第1位(17件)：豊田市美術館・博物館→新しく、展示が工夫されていて面白い。大きな歴史と拳母・豊田市が繋がっているところなど、興味深いと思います。
- 第1位(17件)：豊田スタジアム→スタジアムは、サッカーやラグビーの試合などがあり、子どもから大人まで観戦する事ができ楽しめる。作りも鎧兜がかっこいい。
- 第3位(13件)：トヨタ自動車(工場・会館・テストコース)→自動車大国ニッポンの象徴の場所、自動車業界の雄の歴史、未来が学べると思います。
- 第4位(12件)：小原四季桜公園→外国人に人気の桜であり、気持ちも落ち着く場所である。日本特有の文化や自然を楽しめると思います。
- 第5位(11件)：猿投山・猿投神社・温泉→気軽に登山が出来、神社も素晴らしくパワースポット。猿投温泉は天然のラドン泉で飲むことのできる珍しい温泉。
- その他：松平東照宮、鞍ヶ池公園、能楽堂、WRC ラリー、王滝渓谷、春の水源公園、青葉の香嵐渓、段戸山、足助の重伝建、三河湖、小原の和紙など。
- ※トヨタ自動車に関する回答は観光地としてトヨタ自動車許可等している場合に限定した回答になります。
- ※定番の香嵐渓は回答項目から除外しております。また、「特に無し」との回答も30%近くの方から寄せられています。

## 豊田市における「副業」の状況調査

人材採用時の選択肢として「副業可」を謳う企業が増えていますが、副業をしていますか？



「副業」は一般的ではない様子



副業目的は収入UPが64.4%